



サンタランド ツリー点灯式 (10月22日撮影)

ひろお 議会だより

No 204

2022年12月1日発行

【令和4年第3回定例会】

まちのお金はどう使われたか

令和3年度決算

2

一般質問 (3人が登壇)

／冬季雇用対策／補聴器助成／書かない窓口

10

議会モニター会議 議会運営に反映

14

総務常任委員会 防災公園整備計画

16



町ウェブサイト
「広尾町議会」
QRコード

広尾サンタランドマスコットキャラクター
「さーたちん」

○発行・編集／ 広尾町議会・議会広報特別委員会 E-mail g-gikai@town.hiroo.lg.jp

〒089-2692 北海道広尾郡広尾町西4条7丁目 TEL 01558-2-0180 (議会直通) FAX 01558-2-2114

どう使われたか



令和4年第3回 定例会

9/7～15

一般会計収入(歳入) 合計 80億4638万円

自主財源	町税	9億1224万3297円 (11.3%)
	分担金・負担金	2億1783万1279円 (2.7%)
	使用料・手数料	2億660万195円 (2.6%)
	その他収入	7億7148万9000円 (9.6%)
依存財源	地方交付税	37億5760万4000円 (46.7%)
	国庫支出金 (国からもらうお金)	8億3276万1749円 (10.3%)
	道支出金 (北海道からもらうお金)	3億1896万8042円 (4.0%)
	地方譲与税・交付金等	3億9712万8278円 (4.9%)
	町債 (借金)	6億3175万5000円 (7.9%)

令和3年度各会計収支(歳入・歳出) 一覧

会 計 名		収入(歳入)	支出(歳出)
一般会計		80億4638万840円	78億1881万7376円
港湾管理特別会計		1億1172万9721円	1億1035万960円
簡易水道事業特別会計		1億918万6501円	1億604万1232円
下水道事業特別会計		4億9060万1328円	4億8862万7443円
国民健康保険事業勘定特別会計		9億2582万1768円	9億2359万9072円
介護保険特別会計		7億1376万5040円	6億9976万1486円
介護サービス事業特別会計		2億5858万4372円	2億5794万8667円
後期高齢者医療特別会計		1億2391万3097円	1億2389万2478円
病院事業債管理特別会計		5422万3164円	5422万3164円
水道事業会計	収益的収支※1	1億6482万3039円	1億6612万8828円
	資本的収支※2	0円	7787万6335円 ※3

※1 収益的収支～事業活動に伴い、発生が予定されるすべての収入と支出

※2 資本的収支～将来に備えて行う建設改良や、建設改良に要した借金の返済金などの収入と支出

※3 収支の不足分は、留保資金などでカバー(補てん)

令和4年第3回定例会は、9月7日(水)から15日(木)までの9日間の会期で開かれ、令和3年度決算認定(一般会計ほか9会計)のほか、条例の制定や令和4年度補正予算などが提案され、本会議・委員会での審議の結果、全議案を原案のとおり可決しました。

※議案審議結果は9ページに掲載

町民1人あたりに 使われたお金

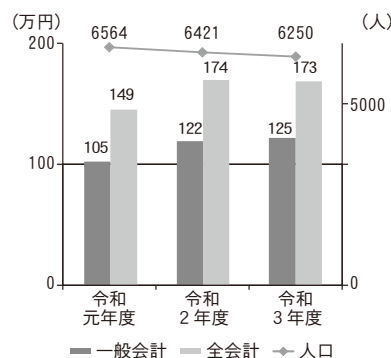
(一般会計)

約125万円

※特別会計等を含めると

約173万円

(注) 3月末現在の住民基本台帳
人口6250人で計算したもの



貯金（基金）残高の推移

平成29年度	30億4003万円
平成30年度	30億2320万円
令和元年度	29億7157万円
令和2年度	30億8267万円
令和3年度	33億4950万円

借金（町債）残高の推移（全会計）

平成29年度	161億7263万円
平成30年度	156億6476万円
令和元年度	147億4534万円
令和2年度	139億5462万円
令和3年度	132億5290万円

数字で見た広尾町の財政力

項 目	R 2	R 3
財政力指数 高いほど、毎年必要なお金を自力で調達できる。	0.238	0.233 ↓
経常収支比率 高いほど、自由に使えるお金が少なくなる。 町村では75%以下が適正とされている。	86.6%	82.4% ↓
実質公債費比率 高いほど、収入の多くを借金の返済に使うことになる。 25%を超えると借金を制限される。	15.0%	14.7% ↓
将来負担比率 高いほど、将来の財政が圧迫される可能性が大きい。	52.7%	36.6% ↓

令和3年度決算審査

まちのお金は

一般会計支出（歳出）合計 78億1881万円

議会費	8167万6258円 (1.0%)
総務費	12億121万2509円 (15.4%)
民生費	17億1986万6251円 (22.0%)
衛生費	8億783万501円 (10.3%)
農林水産業費	4億9139万4813円 (6.3%)
商工費	5億1451万8927円 (6.6%)
土木費	9億206万6442円 (11.5%)
消防費	2億6010万7793円 (3.3%)
教育費	5億7902万3879円 (7.4%)
公債費（借金返済）	12億6112万3円 (16.1%)

一般会計ほか9会計の令和3年度決算認定について、決算審査特別委員会（前崎 茂委員長）を設置し、9月13日、14日の2日間審査した結果、すべての会計を「認定すべきもの」と決定しました。その後、9月15日の本会議で討論・採決の結果、全会計の決算が認定されました。

※一般会計、国保事業勘定特別会計は起立による採決を行いました。（賛否の内訳は9ページ）

【一般会計決算の概要】

収入（歳入）合計額は80億4638万円（前年度比0.1%増）、支出（歳出）合計額は78億1881万円（前年度比0.8%減）となりました。

収

入の46.7%を占める地方交付税は37億5760万円となりました。（前年度比2億9973万円の増）

町

税収入は前年度比4.7%減の9億1224万円となりました。徴収率は96.2%（昨年度93.7%）で、3460万円が未納となっています。

貯

金（基金）残高は合計で前年度比8.7%増の33億4950万円となりました。

借

金（町債）残高は合計で前年度比5.0%減の132億5290万円となりました。



次のページは
「決算審査特別委員会」

状況をチェック

決算審査 特別委員会

9/7, 13, 14

委員長 前崎 茂

副委員長 萬亀山ちず子

令和3年度決算についての質疑内容を抜粋、要約してお知らせします。

一般会計

職員研修

問 メンタルヘルスに関する研修が3件あるが内容と受講後の活用は。

答 職員間でも生きづらさ等を抱えている職員や体調・精神面の変化を見逃さないように各職員に気配り、目配りをするという内容。受講後は、研修を受けた職員を講師として、庁内の管理職向けにメンタルヘルス研修を行った。

WIFI環境整備

問 庁舎とコミセンに整備されたWIFI環境は町民も利用できるのか。

答 来庁者向けに、庁舎内壁等にパスワードを貼って利用できる環境を整えた。現在は、午後10時までと時間制限をしている。災害時等には積極的に開放する。

子ども農山漁村交流

問 農山漁村ホームステイの一環として学校給食への広尾町産食材提供が継続されているが、広尾町の子どもたちへの提供は。

答 東京都の学校給食に食材を提供し、広尾町の水産物や農畜産物、農山漁村の価値を伝えるため継続している。広尾町の児童にもふるさと給食や芽室町との学校給食交流を行い、特産品を使った給食を提供する食育事業を行っている。

中川一朗記念館

問 入館者数が年々減少し、管理費用等により基金も減ってきているが対応策の検討は。

答 基金がある間は、管理を継続していく。今年度から開館日を減らして管理人も1人にするなど工夫を重ねている。基金等の減少は続くが、運営の方法を検討する。

滞納整理機構

問 更別村では令和3年度収納率が100%と報道されているが徴収方法の違いについて検討したことはあるのか。

答 更別村との比較をしたことはないが、参考になるようなことがあれば照会をして参考にしたい。本町でも電話や臨戸訪問などを行い、夜間対応もしているが厳しい結果となっている。引き続き納税を促す努力をする。

町民みらい会議

問 ワークショップの参加者へのアンケートや感想等の内容は。事後アンケートとして感想をいただいている。

いる。

主な感想は、「他の人の意見が参考になった。」「町民参加を取り入れるのはすごく良い。」、など。ワークショップで得られた意見は、公園整備構想の参考としている。

問 ネガティブな意見や改善点などへの意見は。また今後どのように反映するのか。

答 「時間が足りない。」「もっと話がしたい。」「などの意見があった。参加者の意見を吸い上げるアンケートも別途実施しているが、開催回数や内容を今後検討する。

問 広い意見を聴くというには参加者の人数が少ないのでは。

答 定員数が20人で、18人の応募があった。人数が多くなり過ぎてても意見がまとまらないこともある。

認定こども園

問 バス通園時の確認や指導等についての調査は。

答 認定こども園ではバス通園等はないが、遠足やレクリエーション等でバスを使用するときは、職員が人数確認や点呼等を行っている。



町民参加のまちづくり
(ワークショップの様子)

予算の執行



市街地にも頻繁に出没する鹿

国保病院

問 常勤医師の勤務状況と整形外科の常勤医師不在による住民の不安への対応は。

答 現在の常勤医は3人体制となっている。整形外科に関しては北斗病院から医師の派遣を受け、外来診療を行っている。また、北斗病院には、早期に内科医師の確保に向けた協力も要請している。

有害鳥獣駆除

問 アライグマの頭数の増加に比べ駆除数が減っている理由は。

答 個体を目視できない状況でわなを設置するため、うまくいくときとないときがある。

問 鹿による農作物等への被害について町の認識は。

答 鹿による農林被害、農作物被害等は調査し切れていない。道から対策の提言もあるが、財政的な負担など課題も多い。農協や猟友会とも連携をして効果的な対策を検討していきたい。

教員補助員等

問 教員補助員と教科指導助手が減少しているが、不都合な点や処遇改善は。

答 教員補助員や教科指導助手は、全道的な教員不足により確保できない状況にある。教員補助員は各学年1人の配置が理想だが、複数学年の受け持ちで対応している。処遇面は、令和4年度でパート勤務からフルタイム雇用へ変更し、手当を支給するなど収入面での改善を図った。また、短時間勤務も可能として働きやすい体制を整えた。

町営スキー場

問 リフトが稼働していないが、使用せず撤去するの。

答 改修は難しく、新設するには費用負担が大きい。ボブスレー等を利用した冬のスポーツを楽しむ施設として整備していきたい。

討論

一般会計歳入歳出決算

反対 活用内容の改善を

旗手恵子委員

賛成 赤潮対策等に尽力

北藤利通委員

ふるさと納税は、広尾町の子どもたちの使途に活用できるよう改善すべき。また、政治家記念館は、地方公共団体が運営すべきものではなく、速やかに運営形態の見直しをすべきと考え、本決算認定に反対する。

赤潮への対策や新型コロナウイルス対策など、各事業の遂行に尽力されている。広尾町産食材提供事業では町産品をアピールし産業振興に取り組んだ。また、財政運営も健全化の努力を認め、本決算認定に賛成する。

国民健康保険事業勘定特別会計

反対 家計圧迫回避すべき

旗手恵子委員

賛成 安定的な維持運営

北藤利通委員

国民健康保険税の所得割は大幅な引上げとなっている。新型コロナウイルス感染拡大で自営業者等の営業環境が悪化している中で引上げは家計を圧迫するもので、国保税の負担増は回避すべきと考え、本決算認定に反対する。

北海道が運営主体となり、健全で安定的な維持運営と医療の確保や健康増進に努めている。保険税の増額は事業の健全運営に必要な不可欠である。また、適正な会計運営がなされていることから、本決算認定に賛成する。

医療費 助成

高校生までの 医療費無料化へ前進

令和5年4月実施予定

令和4年
第3回
定例会
9/7～15



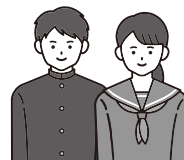
町の子育て支援の一環として、乳幼児及び児童医療費助成事業を高校生まで拡大する計画が発表されました。

現在、北海道の事業として、乳幼児及び児童に対し6歳未満まで医療費の助成を行っており、町単独では中学生まで事業内容を拡大しています。

第4回定例会に改正条例を提案、令和5年4月実施を予定しています。

《対象》

- ①広尾高校に通う全生徒
 - ・町内在住の生徒
 - ・町外から広尾高校に通学する生徒及び下宿生等で住所を有する市町村において医療費の助成がない生徒
- ②町内在住の保護者に扶養または監護されている町外の高校に通う生徒



子どもの医療費助成状況（十勝管内）

中学生まで（7町村）	高校生まで（11町村）
音更町、芽室町、中札内村、大樹町、広尾町、幕別町、足寄町	士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、更別村、池田町、豊頃町、本別町、陸別町、浦幌町

※士幌町は令和4年8月診療分より高校生までに拡大

広尾町の医療費助成の経緯

平成16年	4月	6歳未満までに拡大
平成20年	10月	小学生の入院も助成対象に
平成23年	8月	小学生の入院外まで拡大
平成27年	4月	中学生まで拡大
令和5年	4月	高校生まで拡大予定

その他決まったこと

◎任期満了による教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任に「同意」しました。

教育委員～武藤敏広さん（再任）任期：令和4年10月12日から4年間

固定資産評価審査委員～山川揚大さん（再任）任期：令和4年10月4日から3年間

◎町が管理する「公の施設」について、適正かつ効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入できるように各施設の設置条例の改正並びに用途を終えた施設の廃止に関する条例を制定しました。

◎物価の変動等に鑑み、衆議院や参議院議員の選挙における選挙運動用自動車の使用等、公営に要する経費の限度額が引き上げられたことに伴い、関係条例を改正しました。

◎働きながら育児や介護がしやすい環境整備をさらに進めるため、国家公務員に係る規定の改正内容に準じて、地方公務員の育児支援、介護支援に係る規定が改正されたことに伴い、関係条例を改正しました。

副議長選挙

副議長選挙は投票により実施され、山谷昭夫議員が当選しました。

【選挙開票結果】

山谷昭夫議員 11票
白票 1票



副議長就任あいさつ 山谷昭夫

副議長に選出いただき、微力ではありますが、誠心誠意責務を全うする決意であります。

前任の浜頭勝副議長の議会に対する強い信念を受け継ぎ、堀田議長を補佐し、健全な議会運営に尽力してまいります。皆様のご指導、ご協力を心からお願ひ申し上げます。のご挨拶いたします。

とかち広域消防事務 組合議会議員選挙

議長の指名推薦により、山谷昭夫議員が当選しました。

補正予算

不妊治療費等助成事業 185万円

不妊治療に係る経済的負担を軽減するために、特定不妊治療に加え、一般不妊治療についても治療費用と交通費の助成を行います。

一般不妊治療は1年度につき10万円まで。特定不妊治療は1回の治療につき15万円まで（40歳未満通算6回まで、40歳以上は通算3回まで）。交通費は5万円まで。

電気自動車の導入 1424万円

電気自動車本体の購入や充電設備の設置、カーポート新設などに伴う予算を計上しました。

新型コロナウイルス 接種事業 2276万円

オミクロン株に対応した新型コロナウイルスワクチンの予防接種委託料や集団接種に伴う費用などの予算を計上しました。

【問】 オミクロン株に対応したワクチンの接種は努力義務なのか。

【答】 国からはオミクロン株対応のワクチン接種対象年齢が12歳以上で、初回接種を完了した者と案内されています。希望する方に対して、接種体制を確保し、ワクチン接種に向けて進めていきます。

【問】 町民に接種の判断を促す働きかけは。

【答】 ワクチン接種に関しては、分かりやすい広報に努めます。

地域おこし協力隊 63万円

【問】 地域おこし協力隊への交付金の交付対象と内容は。

【答】 地域おこし協力隊員から活動内容を提出してもらい、個人に対して活動交付金を交付しています。内容は、機の購入や活動経費、旅費など。

広域連携映画製作 準備活動負担金 250万円

【問】 平成29年から準備委員会へ負担金を交付しているが、今回を含め総額は。

【答】 平成29年に脚本代として64万8000円、平成30年度から令和3年度までは25万円ずつを活動支援負担金として、令和3年度は出資金として530万円、令和4年度は250万円で総額94万8000円になります。

【問】 映画製作の目標額に對し現時点でどの程度集まっているのか。

【答】 目標額は2億5000万円、現時点では文化庁からの交付金や

各町の出資金合わせて1億4000万円の見通しがたっています。

Wi-Fi環境整備 58万円

【問】 港湾課事務所に整備されるWi-Fi環境の利用範囲は。

【答】 国の機関又は港湾関連団体が主催する会議や講習会等に港湾課事務所から参加するためのもので、事務所内だけで使用します。

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ⑦	81億4630万円	2億5006万円	増
港湾管理特別会計 ①	1億542万円	162万円	増
簡易水道事業特別会計 ②	1億3806万円	1563万円	増
下水道事業特別会計 ③	3億6311万円	575万円	増
国保事業勘定特別会計 ③	9億5886万円	(1万円未満の増)	
介護保険特別会計 ③	7億1919万円	1987万円	増
介護サービス事業特別会計 ③	2億6824万円	410万円	増
後期高齢者医療特別会計 ①	1億2470万円	※増減なし	
水道事業会計 ②	1億6588万円	8万円	増
収益的支出			

※会計名の後の丸数字は補正回数 (1万円未満切り捨て)



次のページは「意見書・行政報告・議案賛否・議員の出欠」

意見書2件を可決

国等へ提出

※内容は要約しています。

① 加齢性難聴者への補聴器購入のための国の助成を求める意見書

提出者 前崎 茂議員

わが国では、加齢性難聴者が年々増加している現状にあるが、2018年の補聴器普及率は難聴者人口の14・4%と非常に低い水準となっている。高齢者の多くは年金生活で高額な補聴器を購入することは家計に与える影響が大きく所有が簡単ではない。

国は、高齢者が経済的理由によって補聴具の購入困難を強いられ、日常



生活や社会的活動に制約が加わることがないよう、補聴器購入に公的助成を行うよう強く求める。

② 国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者 山谷昭夫議員

道路を取り巻く環境は、激甚化・頻発化する自然災害や巨大地震等のリスク増大のほか、道路施設の老朽化、通学路における交通事故の発生など、様々な課題を抱えている。

今後は、平常時・災害時を問わない、安定的な物流・人流の確保・広域道路ネットワークの早期形成や機能向上が必要不可欠である。

よって、道路整備の推進や維持管理の充実・強化に向けて次のとおり特段の措置を講ずるよう強く要望する。
①道路関係予算の所要額確保。

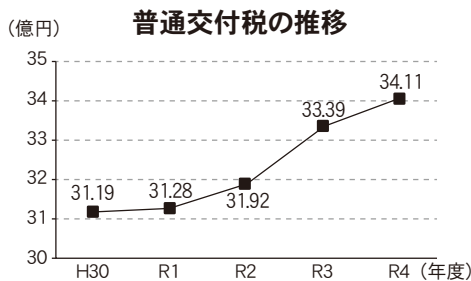
②「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化計画」を計画的に進めるための予算・財源の確保。対策後の予算・財源の継続的な確保。

③高規格道路の着手済区間の早期開通、未着手区間の早期着手及び暫定2車線区間の4車線化。国道とのダブルネットワークの構築や道路の防災対策・無電柱化などによるリダンダンシーの確保。
④橋梁、トンネル、舗装等の戦略的な維持管理・更新事業を行うための技術的支援の拡充。

⑤通学路の交通安全対策などの道路整備や除排雪を含む年間を通じた維持管理に必要な予算の確保。
⑥災害発生時の迅速かつ円滑な復旧等のため、道開発局等の人員体制の充実・強化

提出先

衆議院議長・参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣、国土交通大臣、国土強靱化担当大臣



「普通交付税」

前年度より
2.2%増加



村瀬町長からの

行政報告

※内容は要約しています。

普通交付税の決定

令和4年度の普通交付税決定額は、34億1137万2000円となり、前年度と比べて7220万2000円、2・2%の増となった。また、臨時財政対策債の発行可能額は、4377万9000円、73・3%の減となった。

乳幼児及び児童医療費助成事業

現在、北海道の事業として乳幼児及び6歳未満までの児童に対し、医療費の助成を行っている。

本町では、町単独で中学生までに事業内容を拡大しているが、子育て支援の一環として高校生まで医療費助成の拡大を考えている。
事業拡大は、令和5年4月実施を計画。
(6ページに関連記事)



教育行政報告

菅原教育長からの

※内容は要約しています。

西海市小学生親善交流事業 中高生等海外研修派遣事業

今年度も中止

長崎県西海市から令和5年1月末に本町へ受け入れ予定であった小学生親善交流団は新型コロナウイルス感染症の収束が見えないため中止する。
中高生等海外研修派遣

令和4年第3回定例会 議案審議結果

●賛否のあった議案 (議案名は一部省略しています)

賛：賛成 否：反対 欠：欠席

議 案 名	1 松田健司	2 浜野隆	3 萬亀山ちず子	4 前崎茂	5 北藤利通	6 志村國昭	7 星加廣保	8 欠番	9 渡辺富久馬	10 小田雅二	11 旗手恵子	12 山谷照夫	13 堀田成郎	議決結果
令和3年度一般会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛		賛	否	否	賛	－	認定(8-3)
令和3年度国保事業勘定特別会計決算認定	賛	賛	賛	否	賛	賛	賛		賛	否	否	賛	－	認定(8-3)

※全会一致した議案の掲載は省略しています。

※堀田議員は議長のため、採決には加わりません。
※8番は欠番です。

議員の会議等出欠状況をお知らせします

(令和4年6月定例会終了後～令和4年9月定例会まで)

(1) 定例会・臨時会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退

令和4年6月10日 ～9月6日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
8/16	第3回臨時会(訴えの提起など)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
開催日数計	1日	出席日数計	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
令和4年9月7日～15日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
9/7	第3回定例会(副議長選挙など)		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
9/8	第3回定例会(条例制定・補正予算など)		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
9/9	第3回定例会(一般質問)		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
9/15	第3回定例会(決算認定、意見書など)		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
開催日数計	4日	出席日数計	4	4	4	4	4	4	4		4	4	4	4	4

(2) 委員会

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：所属外

令和4年6月10日 ～9月6日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
8/2	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	×	○	○	－	－	－	－
8/3	第3回総務常任委員会		－	○	○	○	－	－	－	○	○	－	－	×	○
8/4	第3回産業常任委員会		○	－	－	－	○	○	○	－	－	○	○	－	○
8/16	第4回議会広報特別委員会		－	－	－	○	○	○	○	○	○	－	－	－	○
9/1	第6回議会運営委員会		－	○	○	○	－	－	○	○	○	－	－	－	○
令和4年9月7日～15日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
9/7	決算審査特別委員会(正副委員長互選)		○	○	○	○	○	－	○	△	○	○	○	○	－
9/13	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	○	△	○	○	○	○	－
9/14	決算審査特別委員会		○	○	○	○	○	－	○	△	○	○	○	○	－
9/15	議会広報編集会議		－	－	－	○	○	○	○	△	○	－	－	○	－

※議長の委員会への出席

堀田議員は議長のため、各委員会に所属していませんが、いずれの委員会にも随時出席し、発言することができるため、出席した委員会は「○」と表しています。

※決算審査特別委員会は議長、議選監査委員を除く議員で構成されています。

(3) 議員協議会・研修・その他

○：出席 ×：欠席 遅：遅参 早：早退 ー：対象外

令和4年6月10日 ～9月6日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	山谷	渡辺	小田	旗手	浜頭	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
7/6～7	全道議員研修会(札幌市)		○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○
7/20	うみやま議員交流・研修会(芽室町)		○	○	○	○	×	早	×	○	×	○	×	×	○
8/16	第8回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
令和4年9月7日～15日		議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		議員名	松田	浜野	萬亀山	前崎	北藤	志村	星加	欠番	渡辺	小田	旗手	山谷	堀田
開催日	開催会議名・主な内容														
9/7	第9回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○
9/7	第10回議員協議会		○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○



次のページは「一般質問」
『冬季雇用対策・補聴器助成・子育て支援』



一般質問

一般質問とは・・・

議員が定例議会で町長などに執行機関の考え方について、報告や説明を求めたり、疑問をたずねることです。

広尾町議会では1回目が一括質問方式、2回目以降は一问一答方式となっています。

9月定例会では3人の議員が一般質問を行いました。

※議会だよりでは、内容を要約して掲載しています。



各議員の一般質問は
録画中継にて
ご覧いただけます。

旗手議員・前崎議員・小田議員の
一般質問はこちらから ▶



●一般質問 項目一覧

旗手恵子議員	季節労働者の冬期雇用対策を	P10
前崎 茂議員	高齢者の補聴器購入助成を	P11
	学校給食費軽減による子育て支援を	
小田雅二議員	「書かない窓口」システム導入は	P12

季節労働者の冬期雇用対策を

町長

冬期間の雇用機会の創出を図る



旗手恵子 議員



町内での求人情報を一元化する取り組み

質問

コロナ危機で、
景気の低迷、物

価高が家計を直撃し、とりわけ、高齢者世帯への影響が深刻となっている。2019年10月、安倍政権は、消費税10%への引き上げを強行。その一方で高齢者の生活を支える年金の支給額を削減。このような中、季節労働者の冬期間の生活を支えるため、雇用対策事業が必要と思う。

答弁

村瀬町長

季節労働者の通年雇用化に向けて、平成19年度から帯広・南十勝通年雇用促進協議会が事業を推進しているが、広尾町では、直近で平成30年度に2名が季節労働者から通年雇用者となった実績しかない。

町独自の財源での実施は、費用対効果などを勘案し、検討しなければならぬ。国からの交付金の活用を含め、総合的に判断していきたい。

本年1月からは、水産商工観光課の地域おこし協力隊が広尾版ハローワークの構築を手掛けており、町内での求人情報の一元化などに取り組んだことで、3事業所で3名が雇用に結び付いた。

今後についても、冬期間でもできる工事は、冬に実施し、季節労働者の仕事を確保するなどの工夫や関係機関、各事業所と情報共有しながら、雇用機会の創出を図っていく。



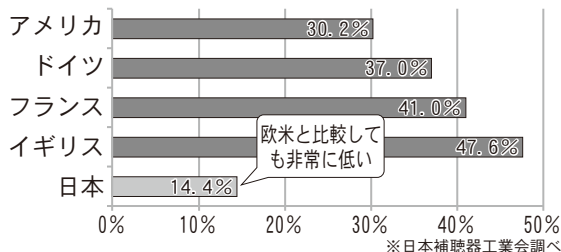
まえざき 前崎 茂 議員

高齢者の補聴器購入助成を

町長

町単独での助成は困難

難聴者人口に対する補聴器の使用率



国が公的補助制度を設け、全国一律の基準で支援することが望ましく、地方から要望することも視野に、今後の国の動きを注視していく。

補聴器の使用による認知症の予防効果については、厚生労働省が調査しているため、その結果を見ながら判断していきたい。

質問

高齢化が進み高齢の難聴者は

年々増加し、日常生活やコミュニケーションを困難にするなど認知症の危険因子になると指摘されている。補聴器使用率は、日本の14・4%に対し、欧米は30%から50%近くまでとなっている。

加えて、補聴器の価格は片耳8万円から25万円であり、高額となっている。根室市でも片耳5万円、両耳10万円、十勝でも豊頃町、新得町、浦幌町でも2万5千円から5万円助成している。

答弁 村瀬町長

本町でも高齢者の皆さんが安心して住み続けられるためにも早期に補聴器購入助成を実施すべきでは。

本町における、加齢性難聴者や補聴器使用者の人数等のデータの蓄積はないが、補聴器に関する相談が年に数件といった状況から、ニーズは必ずしも高くないと認識しており、実施効果を熟慮すると、現時点において町単独で実施することは難しいと考えている。

まえざき 前崎 茂 議員

学校給食費軽減による子育て支援を

町長

継続的な実施に財源が必要、総合的に判断



第2子半額、第3子無償化の支援を

質問

文部科学省が平成29年度の全国

学校給食費の無料化調査で全額、一部助成しているのは506自治体と公表した。その後、群馬県は県下35自治体中、無償化が30自治体に、山梨でも県下27自治体中11自治体にと飛躍的に進んでいる。

道内では、今年度まで37自治体が全額無償化を実施し、十勝でも陸別町、足寄町、浦幌町、鹿追町が全額無償化を、更別村では第2子を半額、第3子を無償化、本別町でも第3子を無償化にしている。

答弁 村瀬町長

本町でも第3子の無償化が62万円できるとのこと。子育て支援として、第2子半額、第3子無償化してはどうか。

学校給食費の軽減については、子育て支援の充実を図る上で有効な施策の一つであると認識している。第2子半額で223万円、第3子を無償化にした場合は62万円、合わせて285万円程度と試算しており、限られた財源の中、他の支援や施策を含めて検討し見送りとしている。

子育て支援の取り組みは十勝も含め全国的に増加傾向にあることは認識しているが、事業の継続的な実施には、それを裏づける財源が必要。そのため、町全体の財政運営を総合的に判断しながら、住民サービスの提供を図ってきたい。



おだ 小田雅二 議員

「書かない窓口」 システム導入は

町長 令和5年2月に稼働予定

質問

役場窓口で申請書等に記入をする作業は、高齢者や小さなお子さんを連れた保護者にとって大変な作業である。北見市役所では10年以上前から業務改善を行っており、「書かない窓口」という、来訪者が職員の手助けで自動入力してもらえるシステムを導入している。

答弁 村瀬町長

現在、窓口に来られた方に氏名、住所、生年月日、連絡先のほか必要な事項について記載していただいている。本町でも北見市役所と同様のシステムを構築できないか検討した結果、今回の補正予算にて、交付請求支援システムを導入し、町民の皆様へのサービス向上に取り組む。

類を交付する、いわゆる「書かない窓口」と同様のもの。
本年9月より構築し、令和5年2月の稼働を予定している。

このような改善は、多くの町民が望んでいたと思うが、具体的な実施内容。

町として住民に対していかに親身に、相手の立場に立ち手伝えるかという部分も大切だと思うが、

窓口に来られた方の本人確認書類を基に、請求者の住所、生年月日などを住民データから自動入力し、署名と連絡先を記載していただくだけで、住民票や戸籍等の書



町民は申請書への記入手続きが簡素化される

追跡!

どうなった? あの質問

過去に行われた一般質問がその後の町政にどう反映されたか、追跡・調査しました。

質問
結婚祝い金制度の創設を
令和3年6月定例会
前崎 茂議員

結婚して新生活を送られる夫婦に対し、引越越し費用や住宅賃貸に係る住居費の一部を助成する「結婚祝い金制度」を創設し、新婚カップルへの支援を急ぐべきではないか。

答弁
結婚意識調査を実施し、支援策を検討する

令和3年度に行う結婚意識調査の結果を分析した上で、結婚に踏み切れない要因を探り、その理由に対応した支援策を講じられるよう、結婚支援の具体的な取組の検討を重ねていきたい。

どうなった?

令和4年度から

結婚新生活支援事業補助金を開始

令和3年度に結婚・家族形成に関する意識調査を25歳～45歳の町民1127人を対象に実施。

令和4年度から広尾町での新婚生活を応援するため、引越越し費用や住宅費用を最大30万円補助する取組を開始した。

〈支給対象〉

・夫婦共に結婚時の年齢が39歳以下の世帯。
・夫婦の所得合計額が400万円未満であること。
※このほかにもいくつか条件あり。

第3回臨時会

8/16

令和4年第3回臨時会が8月16日に開かれ、専決処分の承認、訴えの提起、補正予算など議案5件を審議。いずれも原案のとおり承認・可決し、閉会しました。

訴えの提起

町有地に無断で工作物を設置し、町有地を不法に占有している相手方に對し、明渡しを催告したが応じないため、町有地の明渡し及び賃料相当の損害額支払いを求める。

補正予算

子育て世帯臨時特別給付金給付事業

77万円

弁護士委託料

40万円

行政報告

道路整備作業中の事故

6月3日字紋別13線の路上で道路砂利敷き作業中のダンプの荷台が、町道を横断しているNTTケーブルを切断する事故が発生した。この事故によるけが人はなかった。

巨大地震の被害想定

日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震が発生した際の道内市町村ごとの被害想定が7月28日に北海道より公表された。各地域における効果的な防災対策の推進のために活用することを目的として、夏の昼間、冬の夕方、冬の深夜の3パターンで建物被害や人的被害を推計している。

令和4年度 補正予算の内訳

一般会計 ④⑤⑥	78億9624万円	88万円	増
----------	-----------	------	---

※会計名の後の丸数字は補正回数

(1万円未満切り捨て)



総合防災訓練 (9/28)

○日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の被害想定結果概要（広尾町）

1. 建物被害（全壊棟数）	夏・昼	冬・夕	冬・深夜
揺れ	40棟	120棟	120棟
液状化	30棟	30棟	30棟
津波	450棟	440棟	440棟
急傾斜地崩壊	10棟	10棟	10棟
計	530棟	600棟	600棟
2. 人的被害（死者数）	夏・昼	冬・夕	冬・深夜
建物倒壊	—	—	—
津波	260人	210人	170人
【早期避難率低】	60人	50人	60人
【早期避難率高＋呼びかけ】	—	—	—
急傾斜地崩壊	—	—	—
3. 負傷者数	夏・昼	冬・夕	冬・深夜
避難意識高＋呼びかけ	20人	30人	60人
避難意識低	20人	30人	60人
4. 低体温症要対処者数	夏・昼	冬・夕	冬・深夜
低体温症要対処者	—	—	60人

<参考>

広尾町の最大津波高等 (太平洋沿岸津波浸水想定)			広尾町の浸水域内における時間帯別人口		
最大津波高	津波到達時間等	浸水面積	昼	夕	深夜
25.4m	4分～23分	1,039㎡	683人	524人	332人



次のページは
「モニター会議・研修会」

町民の意見を 議会運営に反映

10/18



～議会モニター 会議を開催～

議会モニター5人、議員6人が出席して、議会の傍聴の感想や議会運営・議員活動、議員定数・議員報酬について、要望や意見を交換しました。

※意見は抜粋して掲載しています。

宮原 町の行事に議員の参加が少ない。議会で仕事をしているのはわかるので、できる限り行事などに参加してほしい。

議会 行事の参加には地域の事情もあるが、議員としても町民と一緒に盛り上げていくのは当たり前だと認識している。

鈴木 議員の活動は町民の声を議会に届けることが1番だと思う。町の行事に参加して、日頃会った時や思いついた時に町民が意見を言える状況を作る意識が必要では。

議会 出かけた時に、町民、特に女性の意見を聞くことが多い。出会った時に聞いた意見は、役場に話している。

岩田 議会活動の中で特定の議員しか一般質問をしていないように思うが、町民の声を反映するために活発な議会運営活動が必要では。

議会 一般質問は、町民の声を議会に反映する大事な事である。行政を動かすには十分な調査と強い住民要望をどう聞いて届けるかを使命と思い、質問をしていきたい。

鈴木 一般質問は、議員だけが準備をするのではなく、支援者と一緒に行ってはどうか。議員の時間と労力を分散でき、町民も興味を持って議会を見られるのでは。

議会 議員が支援者と一緒資料を調べることは大切だと思う。議員それぞれの意見や立場、考え方があって、皆同じにはならないが、町民からの意見をまちづくりを生かそうとする立場は一緒であり、議会報告会以外の場面でも意見を聞かせていただきたい。

会川 常任委員会防災公園について調査しているが、議会ですっかりチェックしてほしい。道の駅は、地域振興として、交流人口等の増加に繋が

ていくと思うが、何とかしなくてはいけないという起点に立って進めては。防災公園や子どももの公園は大変重要だと認識している。財政的なこともあるが、ついでに作るようなものでは道の駅は成り立たない。行政側には伝えてはあるので期待している。

大庭 買物が不便で車がなくて生活しづらい。町民が住みやすくなるように考えてほしい。

議会 未来に持続可能なまちにするには、身近な事から行うことが大事だと思う。長く住み続けたいと思う町にすることを考えていきたい。

宮原 サンタランドがあるのだから、そこに特産品を置いて観光客が集まる場所にしてはどうか。

議会 年々イベントでサンタランドに訪れる人が減っている。柵があり花畑の中に入らず不満を感じている人もいます。町も工夫をして変えてきて

いるが、議会としても考える必要がある。

岩田 活発な活動が少ないので定数を減らすべきだと思うが。

鈴木 議会で発言している人が限られており、双方向のやり取りがないので、議員定数は少なくともいいのではないか。

会川 人口に対して議員定数が多いか少ないかを見るのか、議員一人ひとりの活動を見ていくのかによると思うが、選挙の当落や得票数が一つの基準点となるのでは。

議会 議会の活性化を進める取り組みは必要で、議員定数を下げて報酬を上げるという議論はあるが、総体的に考え判断する必要がある。

行政執行の良し悪しを監視する役を議員が担っている。広尾町は2回連続で無投票で定員割れの可能性もある。現実問題として議員報酬だけでは、生活が成り立たない。非常に難しい問題で、町民の貴重な意見を聞くことができればと思う。

議員 研修

議員力アップへ

10/3

南十勝町村議会議員研修会 ～効果的な質問を行うための手法～



南十勝議会議員研修会が中札内村で開催され、議員9人が参加しました。この研修は、地域振興や地域課題についての情報交換を通じて、南十勝圏の総合的な発展と議員相互の交流を深めることを目的に毎年行われているものです。

今年は、「行政を動かす一般質問のポイント」と題し、株式会社地方議会皇后研究所代表取締役広瀬和彦氏を講師に研修が行われました。

議会における質問・質疑、質問の範囲と対象、効果的な質問を行うためのチェックポイントや手法等を学びました。

研修を受けて 議員のレポート

※一部抜粋

渡辺富久馬議員

一般質問の有効性をどのように構成するかが主なテーマとなっており、参考になった。行政を動かすという一般質問は、我々議員が十分な調査と強い住民要望に支えられて、貴重な時間を無駄にしないように心がけていかなければならないと感じた。

今後、一般質問にあたっては、回数も課題であるが「行政を少しでも動かすために」より一層、日々の議員活動で得た住民の意見要望や自らの調査、実態把握を基に「相手に何を訴えたいのか」そして「論点を絞って」疑問点と自己の意見（考え）を述べることで習得したポイント等を活かしたい。

山谷照夫副議長

10/26 広尾町議会独自研修会 ～議員定数・報酬等のあり方を学ぶ～



平成29年から広尾町議会独自の議員研修会を実施しています。

今回、議会改革及び議会活性化の一層の推進を図るため、大正大学社会共生学部公共政策学科江藤俊昭教授を講師に招き、研修を行いました。

本研修には、本町議会議員10人のほか、議会モニター2人、芽室町議会、南十勝町村議会から多数の議員にも参加いただきました。

【内容は抜粋しています】

住民自治の根幹と しての議会の作動

議会は地域経営における重要な権限を有している。首長ができるのは、政策の提案であり、決めるのは議会。議決のあり方で地域の方向性が決まる。多様性、論点の明確化、合意可能性、世論形成といった役割を担う。

議員のなり手不足の現状と課題

議員定数・報酬は議会のあり方と密接に関係しており、町民が議会の活動を知らなければ、定数・報酬は少なくとも良いと思われる。

議員のなり手不足は、議決の正当性、議会の存在意義に関わり、住民自治にとって大きな問題を生み出す。

議員報酬の検討を始めるにあたっては、次世代の議員のなり手のための条件整備として、住民とともに議論を行うべき。

次のページは
「常任委員会」

考えた!



の現状

所管事務調査

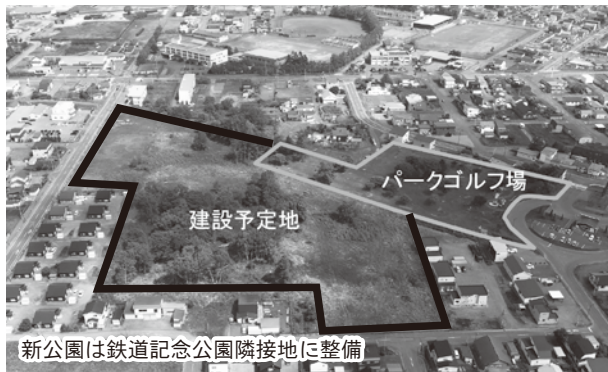
総務常任委員会

出席委員：委員長 前崎 茂 副委員長 萬亀山ちず子
浜野 隆・山谷照夫・渡辺富久馬・堀田成郎

調査日 令和4年8月3日

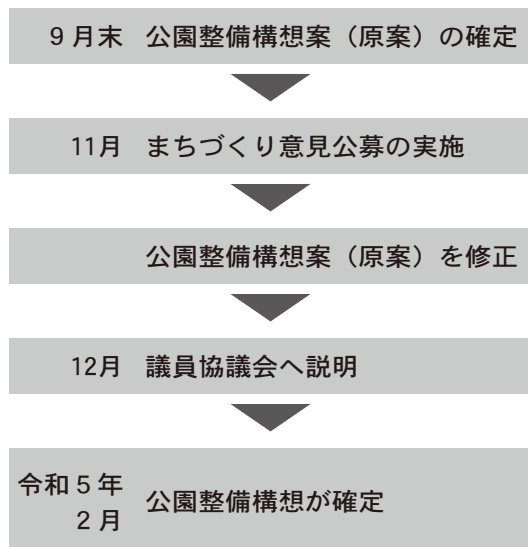
防災公園整備計画

～整備策定計画を調査～



公園内には、大、中、小様々な遊具を配置し、休憩スペースも設置する。遊具は6歳から12歳までを対象とした児童用遊具、1歳から6歳までを対象とした幼児用遊具を町民の意見を募り検討する。遊具以外では、スケートパーク、キックバイク、ドッグルランなどの要望が寄せられている。

今後のスケジュール



1. 防災公園整備構想案
防災公園整備にかかる敷地は、鉄道記念公園隣接地に位置し、当該面積は3万6496㎡。敷地内には一部木が残っており、線路跡が土塁のような形で残っている。

整備策定計画

基本構想と基本計画の作成を進めている新たな公園整備について、整備方針、配置計画案、今後のスケジュールについて、町から説明を受けた。

2. 整備方針

昨年度2回開催したまちづくり町民みらい会議で、公園にかかるキーワードを「防災」と「日常生活」とした。

町民から寄せられた意見を踏まえ、必要な機能をバランスよく整備する方向性を検討している。

防災機能と多世代交流を軸とし、まちへの愛着を育む公園「みんなの遊び場」をコンセプトとした。

施設遊具

進総合計画では、観光交流施設として小規模なものを計画している。

答

第6次まちづくり推進総合計画では、観光交流施設として小規模なものを計画している。

問

防災公園以外の観光交流施設の「道の駅」化を視野に考えているとのことだがその考え方は、

答

子どもの遊び場を主に考えており、子どもを産み育てやすい環境として大きな要素となる。いろいろな施策を組み合わせるよう取り組んでいきたい。色々な年代の多様な意見を聞いていきたい。

配置計画

公園の配置計画案にいずれも共通する要素として、遊具などを配置した芝生広場、周遊遠路、防災倉庫、駐車エリア、交流施設エリアがあり、町民等から意見を取りまとめ、1つの案にする。

問

防災公園が10、20年後にどう利用されているのか、人口減少と少子化の問題についてどう捉えているのか。

産業常任委員会

出席委員：委員長 小田雅二 副委員長 旗手恵子
松田健司・北藤利通・志村國昭・星加廣保・堀田成郎

調査日 令和4年8月4日

雇用に関する 新たな取り組みは

～雇用状況の実態を調査～



見た!
聞いた!

ひろお

常任委員会

就業者（15歳以上）数の推移

	業種別	H22	H27	R2
第1次産業	農業	404	401	356
	林業	46	30	41
	漁業	485	377	321
	小計	935	808	718
第2次産業	建設業	447	329	303
	製造業	484	419	399
	鉱業	4	5	6
	小計	935	753	708
第3次産業		2,163	1,943	1,832
分類不能		9	60	82
合計		4,042	3,564	3,340
広尾町人口		7,881	7,030	6,388

資料：国勢調査

雇用状況の推移

第1次産業では、令和2年には漁業者数の減少幅が大きく、農業者数を下回った。

林業においては、平成27年に30人まで減少した従事者数が、令和2年度に40人台まで回復しているのは、平成28年4月の暴風雨による大規模な倒木の処理作業によるものと考えられている。

平成22年からの推移は別表のとおり。

町の職業紹介状況

帯広公共職業安定所の資料から広尾町分の数字を引き出し有効求人倍率を求めたところ、平成29年度の0.5から少しずつ上昇し、令和3年度では0.92とほぼ1となっている。これは就職、転職をしやすい状況で、同時に人材不足となっている事業所が増えつつあると考えられる。

広尾版ハローワーク

地域おこし協力隊の1人が、仕事創生や商店街活性化を図る取り組みの一つとして広尾版ハローワークの構築を手掛け、

町内での求人情報の一元化や合同チラシの発行を行っている。
チラシを発行したことですでに3事業所で3人の雇用があった。



広尾町地域密着求人サイト
Hiroooshigoto はこちら

問

道内で特に外国人が多く就労している所の情報や町として外国人就労者とのコミュニケーションの場を設ける考えは。

答

他の状況は情報に触れる場面がないため把握していない。コミュニケーションの場は特に設けていないが、要望があれば検討する。

問

採る漁業から管理型の漁業を進めていくことで生産強化や雇用の創出が図られると思うが、広尾町での動きは。

答

令和3年からウニの完全養殖に取り組んでいる。昨年は赤潮の影響を受けたが、新しい漁業と雇用体制を目指して取り組んでいる。

次のページは
「議会日誌・ざかいトピックス」

議会活動日誌

令和4年9月～令和4年11月

【9月】

- 1日 第6回議会運営委員会
- 7日 第3回広尾町議会定例会（～15日）
第9回議員協議会
第10回議員協議会
- 15日 議会広報編集会議
- 22日 市街地区敬老会

【10月】

- 3日 南十勝町村議会議員研修会（中札内村）
- 17日 第11回議員協議会
- 18日 第1回議会モニター会議
- 20日 長崎県西海市市長表敬訪問
- 22日 広尾サンタランドツリー点灯式
- 26日 広尾町議会議員等研修会
- 31日 産業常任委員会行政視察（～1日・苫小牧市）

【11月】

- 1日 帯広市開拓140年・市制施行90年記念式典（帯広市）
- 2日 第4回総務常任委員会
- 4日 議会広報編集会議
参議院議員船橋利実政経セミナー（札幌市）
- 7日 第12回議員協議会

- 9日 町村議会議長全国大会（8日～・東京都）
- 10日 第5回議会広報特別委員会
- 13日 東京広尾会（12日～・東京都）
- 21日 議会報告会（豊似・1班、音調津・2班）
- 24日 第13回議員協議会
議会報告会（コミセン・全議員）
- 28日 とかち広域消防事務組合議会定例会（帯広市）
十勝圏複合事務組合議会定例会（帯広市）
- 29日 第4回広尾町議会臨時会
第14回議員協議会

閉会中の所管事務調査

各常任委員会と議会運営委員会は、令和4年第4回定例会までの閉会中に、次の所管事務調査を実施します。

◇総務常任委員会

- ①広尾町介護保険事業計画・障害者計画の進捗状況について

◇産業常任委員会

- ①釣り文化振興モデル港の運営状況について
- ②オートキャンプ場の施設及び運営状況について

◇議会運営委員会

- ①議会の運営に関する事項について
- ②議会の基本条例、会議規則等に関する事項について
- ③議長の諮問に関する事項について

ぎがいトピックス

9/20 広尾町開町記念表彰 自治功労賞を受賞

北藤利通議員と志村國昭議員が広尾町開町記念表彰にて自治功労賞を受賞されました。

町議会議員として10年以上在職し、各町内会役員も務め地方自治の振興に寄与した功績が認められました。



広尾町議会から町民の皆様へお願いします

- ①議場ではマスクを着用し、出入りの際には手指の消毒をしてください。
 - ②傍聴席では間隔をあけてご着席ください。
 - ③体調が良くないときは、傍聴をお控えください。
- ※町ウェブサイトから議会中継を見ることができます。

過去の
録画中継も
見れるよ



町ウェブサイト
「議会インターネット中継」
QRコード